器具の取外しは工事店･電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- **器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。**
  器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- **器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。**
  器具と音響製品を離してご使用ください。
- **点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。**
- **電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。**
- **調光用のLEDユニットを使用する場合、ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ･調光器(別売)をご使用ください。**チラツキ･誤動作の原因になります。

■LEDユニットについて

- **光束維持時間は40,000時間です。**
  光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- **LEDのみの交換はできません。**
- **LEDは輝度が高いため、直視しないでください。**
- **LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。**
- **電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。**

■器具のお手入れ　⚠注意　**器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。**感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ケ月に1回程度の清掃･点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質･故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店･工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上､下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は
お客様相談室
ナビダイヤル(全国共通番号)　電話　0570-055123
受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは
サービスセンター
ナビダイヤル(全国共通番号)　電話　0570-015123
FAX　0570-025123
受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検　★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際このような症状はありませんか
- ●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- ●こげくさい臭いがする。
- ●コードに傷や傷みが見られる。
- ●グローブ、セードなどにひびが見られる。

→ ご使用中止　故障や事故防止のため、電源スイッチを切り､必ず販売店に点検､修理を依頼してください。

⚠安全に関するご注意
- ●照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと､外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯､年間3000時間点灯の場合)
- ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- ●3年に1回は､工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると､まれに､発煙､発火､感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について
- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より１年間です。
  但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
- グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき
- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3ー3ー7

KOIZUMI　コイズミ照明器具　施工 取扱説明書

型　番　AH92025L・AH92026L・AH92028L

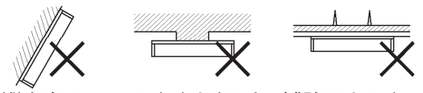
お客様へ　器具の取付けの際、電気工事は工事店･電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ　施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠警　告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 厳守：**器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。**→器具の取付けに不備があると火災･感電･落下によるけがの原因になります。
- 禁止：**このような場所には取付けないでください。**
  この器具は天井･壁付両用器具です。傾斜天井に取付ける場合は90°までにしてください。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所､使用後のネジ穴には取付けないでください。→器具の落下によるけがの原因になります。
  

- 分解禁止：**器具を改造したり、部品を追加･変更して使用しないでください。**→火災･感電･落下によるけがの原因になります。
- 禁止：**器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。**→感電･故障の原因になります。
- 禁止：**器具を布や紙などでおおって使用しないでください。**→火災の原因になります。
- 禁止：**埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。**→樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災･落下によるけがの原因になります。
- アース工事：**アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。**→アースが不完全な場合、感電の原因になります。
- 厳守：**異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。**→放置しますと火災･落下によるけがの原因になります。工事店･電器店にご相談ください。

⚠注　意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 接触禁止：**点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。**→やけどの原因になります。
- 水ぬれ禁止：**この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。**→火災･感電の原因になります。
- 禁止：**ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。**→火災の原因になります。
- 禁止：**周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。**→火災･感電の原因になります。
- **使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。**
- 厳守：**表示された電源電圧(AC100V/AC200V/AC242V/AC254V)以外の電源で使用しないでください。**→火災･感電の原因になります。
- 厳守：**照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。**→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 厳守：**照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。**
  照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度､湿度､紫外線､ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

取説No. C131-064 KL／S・T-07

■別売専用LEDユニット一覧

Aグループユニット	LEDユニット型番	定格電圧	入力電流	消費電力
PWM調光タイプ	AE57475・AE57476 AE57477・AE57478	AC100V	0.50A	49.4W
		AC200V	0.25A	49.4W
		AC242V	0.22A	48.2W
	AE57479・AE57480 AE57481・AE57482	AC100V	0.43A	42.6W
		AC200V	0.21A	41.5W
		AC242V	0.18A	41.5W
	AE57483・AE57484 AE57485・AE57486	AC100V	0.32A	31.8W
		AC200V	0.17A	31.8W
		AC242V	0.14A	31.3W
	AE57487・AE57488 AE57489・AE57490	AC100V	0.26A	25.3W
		AC200V	0.13A	24.8W
		AC242V	0.11A	24.9W
	AE57491・AE57492 AE57493・AE57494	AC100V	0.20A	19.9W
		AC200V	0.10A	19.6W
		AC242V	0.09A	19.7W
	AE57495・AE57496 AE57497・AE57498	AC100V	0.16A	15.5W
		AC200V	0.08A	15.3W
		AC242V	0.07A	15.4W
	AE57499・AE57500 AE57501・AE57502	AC100V	0.13A	12.5W
		AC200V	0.07A	12.3W
		AC242V	0.06A	12.4W

Bグループユニット	LEDユニット型番	定格電圧	入力電流	消費電力
DALI/PWM 調光タイプ	AE57601・AE57602 AE57603・AE57604	AC100V	0.34A	33.6W
		AC200V	0.17A	33.6W
		AC254V	0.14A	33.6W
	AE57605・AE57606 AE57607・AE57608	AC100V	0.21A	21.4W
		AC200V	0.11A	21.4W
		AC254V	0.09A	21.4W

Cグループユニット	LEDユニット型番	定格電圧	入力電流	消費電力
DALI/PWM 調光タイプ	AE92420・AE92421 AE92422・AE92423	AC100V	0.54A	54.0W
		AC200V	0.27A	45.4W
		AC242V	0.23A	45.4W

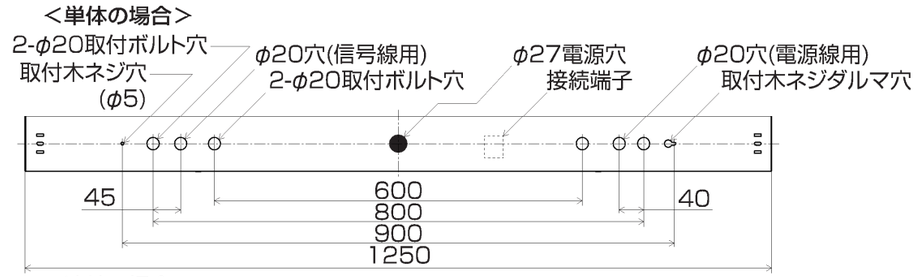
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。
木ネジは丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。

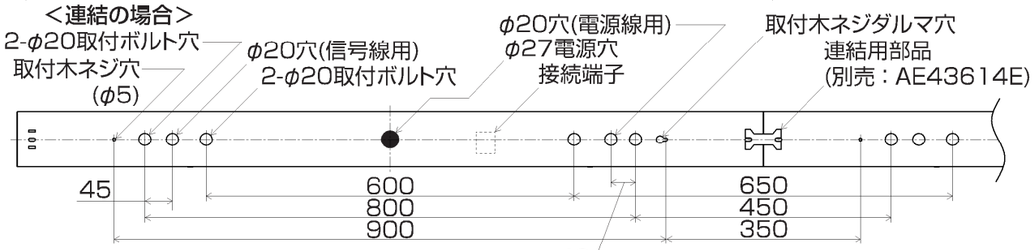
2 取付面がクロス貼りの場合
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 取付ピッチ
下図は器具を取付面から見た図です。

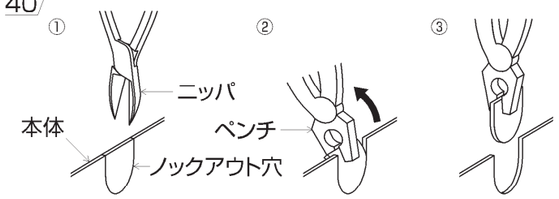
＜単体の場合＞



＜連結の場合＞



4 器具を連結する場合
あらかじめ本体側面の連結側のノックアウト穴を、
ニッパやペンチなどの工具で切り欠いておく。



■施工手順　⚠注意　**取付けの際は必ず電源を切ってください。**感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無･損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

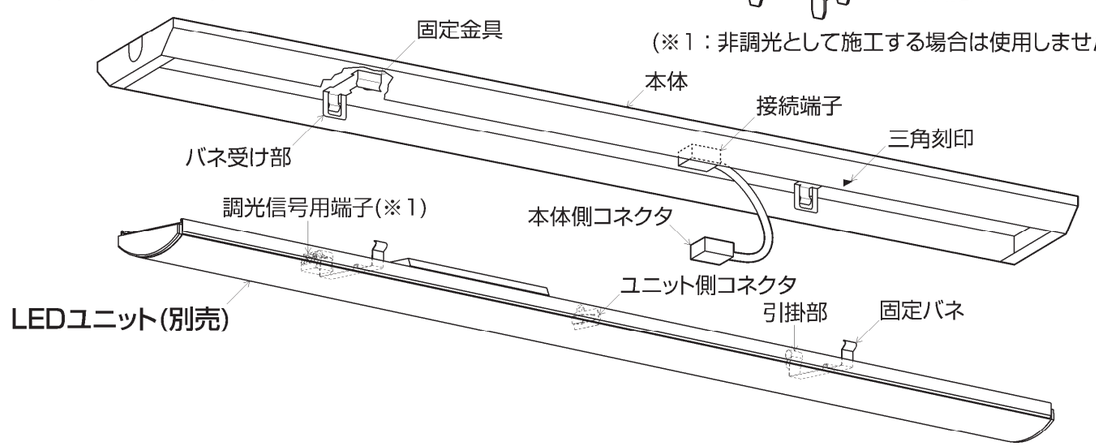
〈連結用部品(別売)〉
AE43614E



連結用部品・・・・・1個

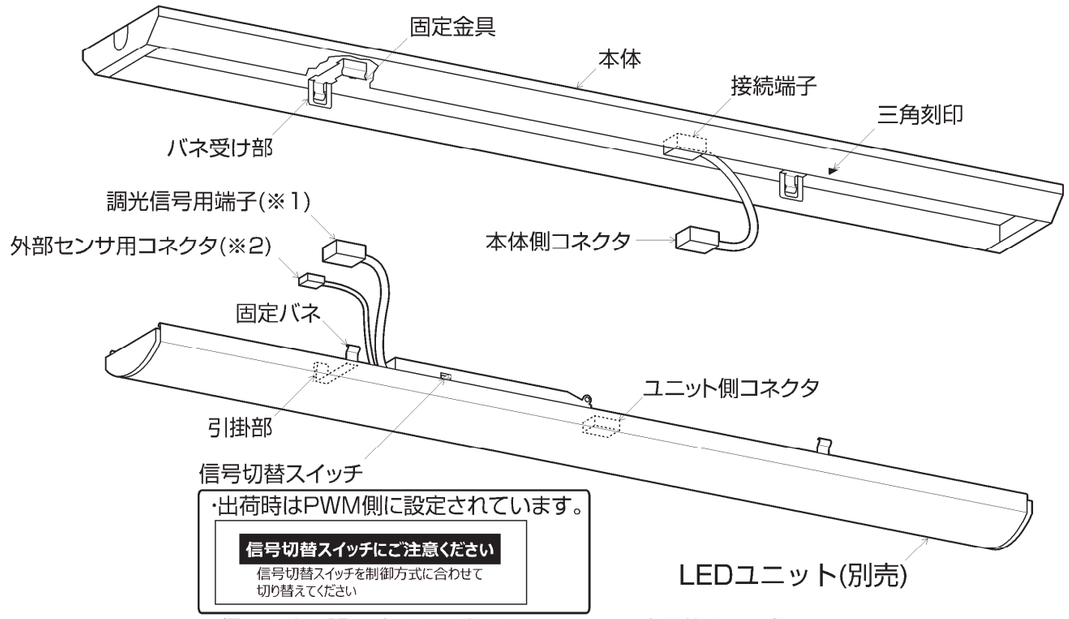
(※1：非調光として施工する場合は使用しません。)

＜Aグループユニット＞



<B、Cグループユニット>

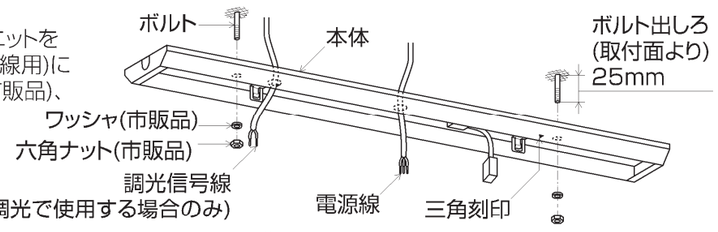
(※1：非調光として施工する場合は使用しません。
Bグループの LEDユニット(別売)のみ。)
(※2：本器具では使用しません。)



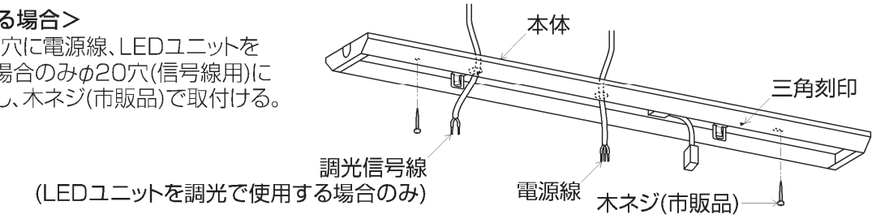
※信号設定に誤りがあると、専用コントローラーをご使用した際に
「点灯しない」「調光できない」といった動作不良の原因となります。
また、点灯始動時間が異なるため、信号切替スイッチの設定を再度ご確認ください。

1 本体を取付ける

<ボルトで取付ける場合>
本体のφ27電源穴に電源線、LEDユニットを調光で使用する場合のみφ20穴(信号線用)に調光信号線を通し、ボルトにワッシャ(市販品)、六角ナット(市販品)で取付ける。

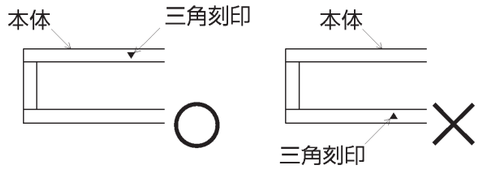


<木ネジで取付ける場合>
本体のφ27電源穴に電源線、LEDユニットを調光で使用する場合のみφ20穴(信号線用)に調光信号線を通し、木ネジ(市販品)で取付ける。

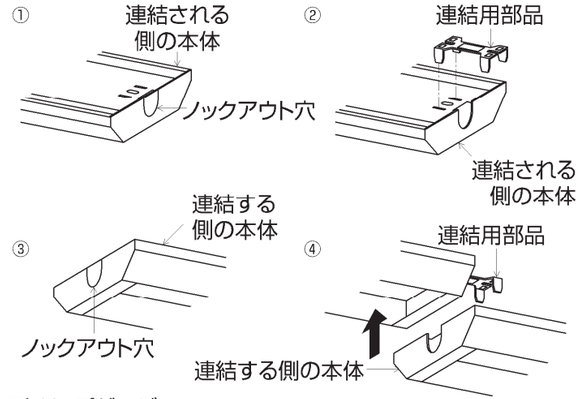


<壁面・傾斜天井に取付ける場合>
三角刻印を上にして取付ける。

⚠警告　**三角刻印を上にして取付けてください。**
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電・落下によるけがの原因になります。



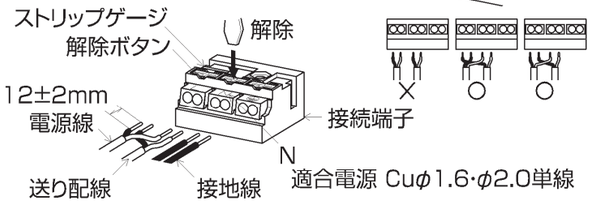
<器具を連結する場合>
①連結される側の本体のノックアウト穴をあける。
②連結される本体に連結用部品(別売：AE43614E)を取付けてから、天井にボルトまたは木ネジで取付ける。
③連結する側の本体のノックアウト穴をあける。
④連結する側の本体を連結用部品(別売)に合うように押し上げてボルトまたは木ネジで取付ける。



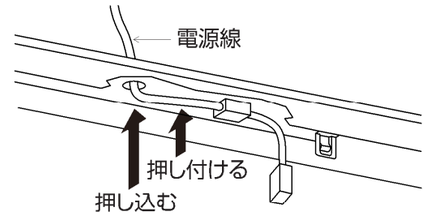
2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量15A)
はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。
※D種(第三種)接地工事を行なう。

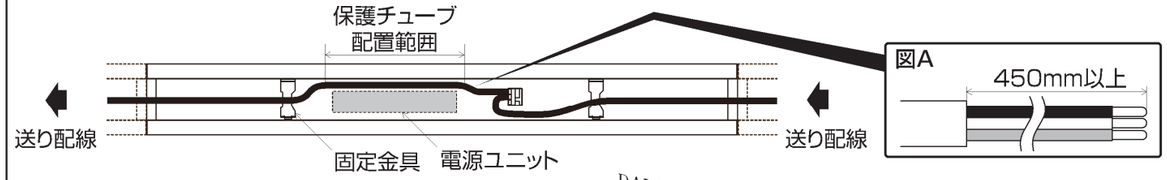
⚠警告　**電源の接続は確実に行なってください。**
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



⚠警告　**電源線にたるみが無いよう接続してください。**
電源線を電源穴に押し込むか、本体に押し付ける。
電源線のたるみによりユニットが干渉し、取付が不完全になりユニットが外れる恐れがあります。



<器具内送り配線をする場合>
送り配線を固定金具の中央付近を通るように接続する。
※器具内のスペースが狭くなっていますので、天井裏に電源線を戻して配線することを推奨します。
※LEDユニットに保護チューブが付属している場合は、図Aのように送り配線の外被(ビニールシース)をむき、保護チューブに電源線と接地線を通し、保護チューブが配置範囲にくるように配線してください。

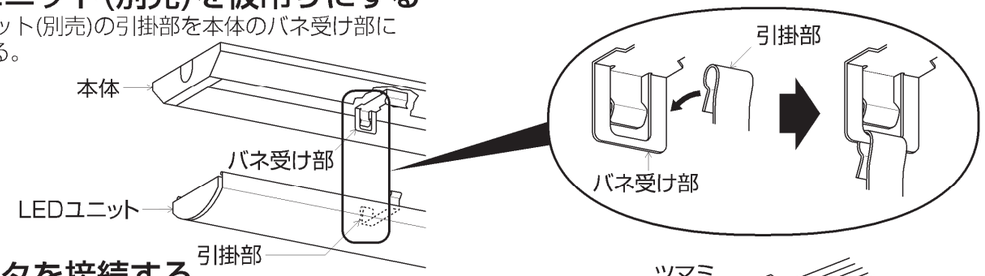


<B、CグループユニットをDALI信号で調光する場合>
DALI信号でご使用される場合は、LEDユニットのDALI/PWM切替スイッチをDALI側に切り替える。
※出荷時は、PWM側に設定しています。



3 LEDユニット(別売)を仮吊りにする

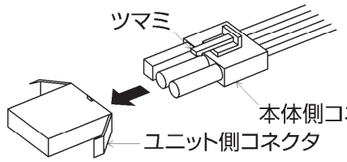
LEDユニット(別売)の引掛部を本体のバネ受け部に引っ掛ける。



4 コネクタを接続する

本体側コネクタをユニット側コネクタに確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

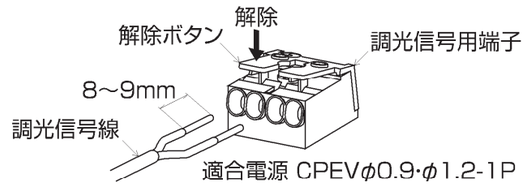
⚠警告　**電源の接続を確実に行なってください。**
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



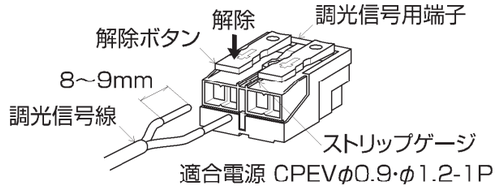
<LEDユニットを調光する場合>
下図のように指定の長さで調光信号線の被覆をむき、
調光信号線用端子に確実に差し込む。
はずすときは解除ボタンを押しながら、調光信号線を抜く。

⚠警告 調光信号線の接続を確実に行なってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

<A、Cグループユニットの場合>

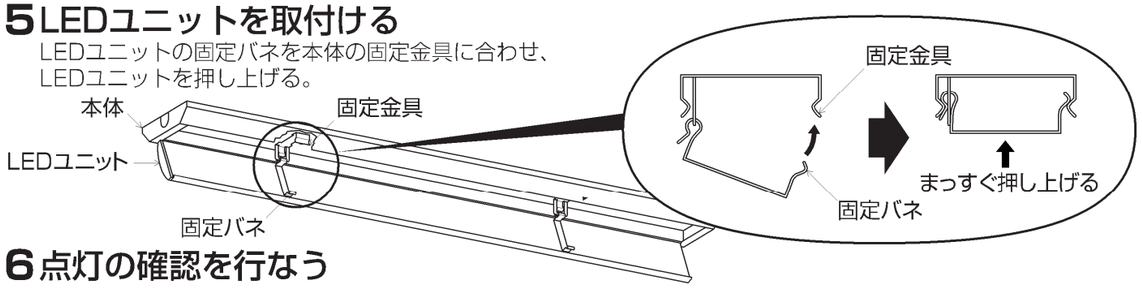


<Bグループユニットの場合>



5 LEDユニットを取付ける

LEDユニットの固定バネを本体の固定金具に合わせ、
LEDユニットを押し上げる。



6 点灯の確認を行なう

■壁スイッチで操作する(Aグループユニットのみ)

本器具は、壁スイッチ操作により点灯モードの切替が可能です。
全灯モード(100%点灯)
調光モード(70%点灯)

1 点灯モードの設定

- 出荷時は全灯モードに設定されています。
- 点灯モードの設定を切り替える場合は、消灯状態で壁スイッチのON⇔OFF操作を3回繰り返し、3回目のOFFから2秒以内に電源をON（4回目）にして、5秒以上点灯させてください。
※壁スイッチ操作は、ON(1～2秒)・OFF(1～2秒)の間で行ってください。

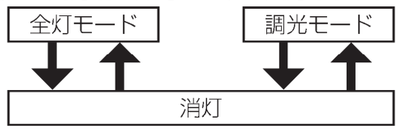


全灯モード切替：明るさが1回変化します
調光モード切替：明るさが2回変化します

- 点灯モード切替完了のお知らせ
(ON⇔OFF操作の直後のみ、明かり差の変化によりお知らせします。)

2 メモリ機能

- 消灯しても消灯前の点灯モードを記憶しています。
- 再点灯後は、消灯前の点灯モードで点灯します。



3 点灯モードのリセット

- 器具間の点灯モードが揃わない場合は、一度リセットしてください。
- リセットを実施する場合は、消灯状態で壁スイッチのON⇔OFF操作を4回繰り返し、4回目のOFFから2秒以内に電源をON（5回目）にして、5秒以上点灯させてください。
- いずれの点灯モードからも全灯モードへリセットされます。
※壁スイッチ操作は、ON(1～2秒)・OFF(1～2秒)の間で行ってください。
- リセット操作後に明るさが1回変化すればリセット完了となり全灯モードでの点灯状態を維持します。

■LEDユニット交換について

⚠警告 LEDユニットの交換は工事店・電器店に依頼してください。
感電の原因になります。
⚠注意 LEDユニット交換の際は安全のため電源を切ってください。
感電の原因になります。

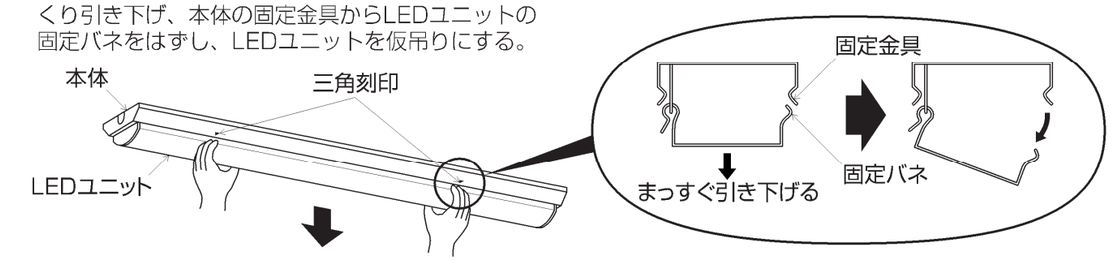
⚠警告 指定のLEDユニット以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のLEDユニットを使用すると火災の原因になります。

⚠注意 点灯中や消灯直後は器具やLEDユニットが高温のため触らないでください。
やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

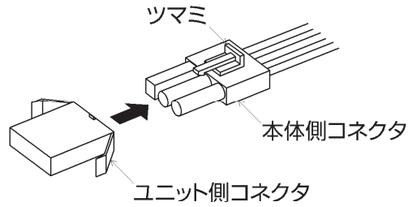
2 LEDユニットを仮吊りにする

本体の三角刻印の位置でLEDユニットを持ってゆっくり引き下げ、本体の固定金具からLEDユニットの固定バネをはずし、LEDユニットを仮吊りにする。



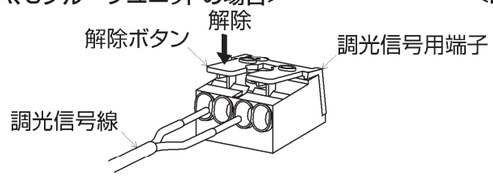
3 コネクタを取外す

ツマミを押しながら、ユニット側コネクタから、本体側コネクタを抜く。

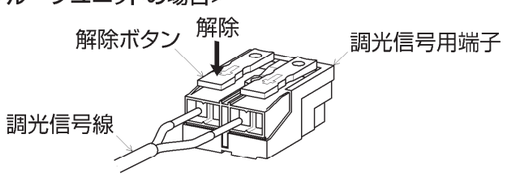


<LEDユニットを調光している場合>
調光信号用端子の解除ボタンを押しながら、調光信号線を抜く。

<A、Cグループユニットの場合>

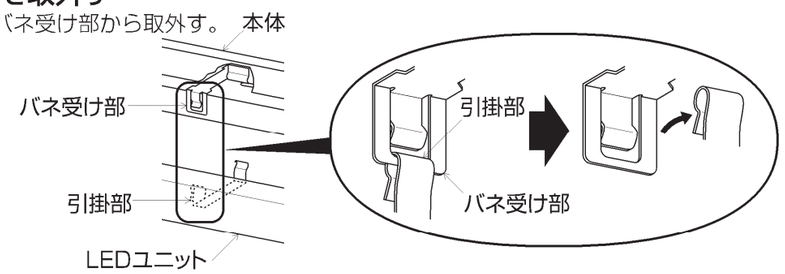


<Bグループユニットの場合>



4 古くなったLEDユニットを取外す

LEDユニットの引掛部を本体のバネ受け部から取外す。



5 新しいLEDユニットを仮吊りにする

施工手順3を参考にLEDユニットを仮吊りにする。☞ P.5

6 コネクタを接続する

施工手順4を参考にコネクタを接続する。☞ P.5、6

7 LEDユニットを取付ける

施工手順5を参考にLEDユニットを取付ける。☞ P.6

8 使用済みのLEDユニットは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。